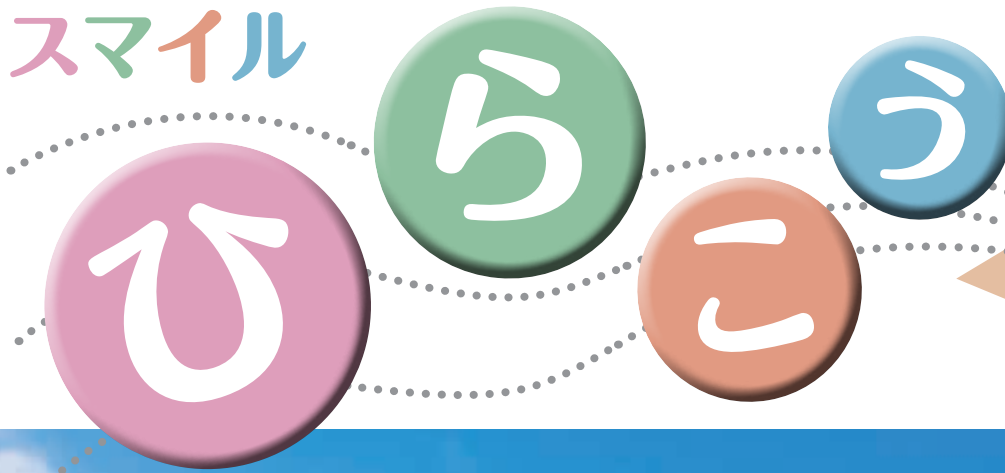


スマイル



特集

新入職医師紹介

核医学検査について／外来について／認定看護師通信

新入職医師紹介



整形外科 科長
足立 崇

はじめまして。4月より赴任いたしました整形外科の足立崇と申します。平成14年関西医科大学卒業です。これまで24年間、脊椎外科を中心に臨床および研究に携わってまいりました。今後はこれまでの経験を生かし、脊椎手術を中心としながらも、幅広い整形外科診療・手術に積極的に取り組み、地域医療の発展と患者さんの機能回復・生活の質向上に貢献できるよう努めてまいります。至らぬ点多々ありますが、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科 副医長
南谷 哲輝

この度、整形外科の副医長に就任いたしました南谷哲輝と申します。今年で卒後10年目となり、前職までは、一般外傷、脊椎外科を中心に、急性期病院にて手術執刀、外来治療に携わってまいりました。

当院では、脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアといった脊椎疾患、および四肢の外傷治療を診療の柱とし、症例に応じて人工関節置換術（股関節・膝関節）にも対応可能です。的確な診断に基づき、保存療法から手術的治療まで、患者様のADL向上を第一に考えた治療を提案してまいります。

近隣の先生方との緊密な連携を大切に、ご紹介いただいた患者様には迅速かつ丁寧な対応を徹底いたします。精査や加療の必要がございましたら、些細なことでもお気軽にご相談いただけますと幸いです。



外科 科長
山田 理大

4月より赴任いたしました外科の山田理大と申します。これまで京都大学医学部附属病院、旭川医科大学病院、滋賀県立総合病院にて、ロボット手術の導入および普及に携わってまいりました。専門は大腸がんを中心とした消化器がんに対するロボット手術・腹腔鏡手術ですが、胆石症、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、肛門疾患などの一般外科疾患から腹部の救急疾患まで幅広く対応させていただきます。地域に根ざした外科診療を通じて、皆様のお役に立てるよう尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



皮膚科 副医長
趙 良

日本で生まれ育ちましたが、大学からはアメリカとアイルランドで学び、医学部卒業後はシンガポールで医師として勤務しておりました。その後、日本で医師としてキャリアを積みたい思いが強く芽生え、日本の国家試験を受験しました。初期研修は神戸、専攻医としては京都と滋賀で経験を重ね、関西への愛着がより深まりました。このたび新たな地・大阪で勤務できることを大変嬉しく思っております。

皮膚科は他科の先生方と関わる機会も多い診療科ですので、未熟な点多々ありますが、皆さまと協力しながら精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。
※2025年11月1日入職



皮膚科 副医長
前田 泰広

この度、4月より枚方公済病院の皮膚科に赴任いたしました、前田泰広と申します。

今年で医師10年目を迎える節目に、こちらの病院で地域の皆様の医療に携われることを大変嬉しく思っております。私の専門は皮膚外科です。皮膚外科でご高名な立花診療科長の元、当院でも皮膚悪性腫瘍をはじめとした皮膚外科手術に特に力を入れて取り組んでまいります。身近な皮膚のしこりの切除から、専門的な手術まで幅広く対応いたします。患者様一人おひとりの不安に寄り添い、丁寧な説明と安全・確実な治療を心がけてまいります。少しでも地域医療に貢献できるよう誠心誠意頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この度、4月より枚方公済病院の皮膚科に赴任いたしました、前田泰広と申します。今年で医師10年目を迎える節目に、こちらの病院で地域の皆様の医療に携われることを大変嬉しく思っております。私の専門は皮膚外科です。皮膚外科でご高名な立花診療科長の元、当院でも皮膚悪性腫瘍をはじめとした皮膚外科手術に特に力を入れて取り組んでまいります。身近な皮膚のしこりの切除から、専門的な手術まで幅広く対応いたします。患者様一人おひとりの不安に寄り添い、丁寧な説明と安全・確実な治療を心がけてまいります。少しでも地域医療に貢献できるよう誠心誠意頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

核医学検査について

平素より、当院放射線科への画像検査のご依頼、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

今回、先生方の日常診療における一助となればと思います、核医学検査についてご案内させていただきます。

核医学検査は、放射性医薬品を体内に投与し、その集積機序から臓器の「血流・代謝・受容体密度」といった生理学的・生化学的機能を可視化する検査です。核医学検査は非侵襲的であり、副作用（過敏症）の頻度も造影剤と比較して極めて低いため、高齢者にも安心してご紹介いただける検査と考えております。また、形態画像（CT/MRI）と機能画像（RI）を相補的に活用することでより精度の高い診療が可能となります。

当院における主要 4 検査

1. 骨シンチグラフィ

造骨細胞の活性を反映し、全身の骨代謝を評価します。

◆臨床的メリット：一度の検査で全身のスクリーニングが可能です。単純 X 線や CT では描出困難な初期のがん骨転移、不顕性骨折（脆弱性骨折や疲労骨折）、骨髄炎の診断に威力を発揮します。

2. 脳血流シンチグラフィ

脳局所の血流分布を画像化し、神経細胞の活動性を評価します。

◆臨床的メリット：MRI で明らかな脳萎縮を認める前の段階で、認知症の早期診断や鑑別が可能です。アルツハイマー型（後部帯状回・楔前部・側頭頭頂連合野の低下）やレビー小体型（後頭葉の低下）など、特有のパターンを統計学的解析を用いて客観的に評価できます。

3. DaT シンチグラフィ

線条体におけるドパミントランスポーター（DaT）の密度を定量的に評価します。

◆臨床的メリット：パーキンソン病（PD）やレビー小体型認知症（DLB）における黒質線条体ドパミン神経系の脱落を証明できます。本態性振戦や薬剤性パーキンソニズムとの鑑別に極めて高い特異度を持ちます。

4. 心筋血流シンチグラフィ

心筋の灌流状態と細胞の生存性（バイアビリティ）を評価します。

◆臨床的メリット：冠動脈の「形態的狭窄」が実際に「機能的な虚血」を惹起しているか判定できます。負荷試験（運動・薬剤）を行うことで治療適応（PCI/CABG）の決定や予後予測に直結する情報も得られます。また、腎機能低下のため造影CTが困難な方でも虚血評価が可能です。

上記検査以外に、呼吸器領域、内分泌領域、泌尿器領域、消化器領域、軟部領域の検査等においても、核医学検査が診断に有用な疾患が多くあります。ご質問等ありましたら、電話にて問い合わせ下さい。

今後ともよろしくお願い致します。

放射線科 椎葉 陽一



外来について



当院の外来は、1日平均約500人の患者さんをお迎えする、病院の「顔」ともいえる部門です。地域の皆さまが安心して受診でき、紹介元の医療機関からも信頼して患者さんを託していただける外来を目指し、日々取り組んでいます。

病院長が掲げる「良質の医療」「受診しやすく紹介しやすい病院」「地域の総合病院として出来ない診療を減らす」という方針のもと、外来体制の充実を図ってきました。2025年9月からは初診患者さんの受付時間を11時から14時まで延長し、仕事や家庭の事情で受診をためらっていた方にも、より利用しやすい環境を整えています。

診療体制では、脳神経外科、腫瘍内科、呼吸器外科、整形外科を拡充し、専門性の高い医療を外来段階から提供できるようになりました。急性期医療を担う病院として、早期

診断・早期治療につなげる役割を果たしています。

また外来看護の特徴として、看護外来に力を入れています。糖尿病患者さんへの療養指導や透析予防指導、腎臓病透析予防、心不全の在宅療養指導、禁煙外来などを通じて、患者さんが自分らしい生活を続けながら治療に向き合えるよう支援しています。

さらに、外来による「在宅療養支援能力」の向上を目指し、看護師は研修に参加し、通院中の患者さんの生活背景や課題を丁寧にアセスメントするよう努めています。必要に応じてソーシャルワーカーと連携し、適切な支援につなぐことで、地域での療養を支える外来看護を目指しています。

これからも当院の外来では、地域と病院をつなぐ窓口として、質の高い医療と看護を提供し続けていきます。

外来看護師長 島田 美和



活動報告

日本では、2022年の65歳以上の高齢人口は3,627万人（高齢化率：29.0%）と過去最高となり、急速に少子高齢化が進んでいます。また、2040年には65歳以上の高齢者が全人口の35%を占めることが予想されます。この様な超高齢社会を迎える日本において、切り離せない疾患として『認知症』があげられます。当院でも高齢化の進行に伴い、認知機能が低下している入院患者の割合が増加していると実感しております。

今回は、地域包括ケアシステムの一環として『認知症初期集中支援事業』が全国で展開されている『認知症初期集中支援チーム』の活動を紹介します。

当院も枚方市からの委託で活動を行っています。

『認知症初期集中支援チーム』とは、認知症が疑われる方やそのご家族を、集中的にサポートする専門家チームです。チームが自宅を訪問し、ご本人やご家族

が抱える困りごとを丁寧に聴き取り、個別の課題を解決するために、**概ね6ヶ月間**という期間集中的に支援を行います。

- ①当院神経内科の受診につなげ、認知症の診断・治療、ご本人やご家族への支援を行う
- ②介護サービスといった適切な支援へとつなげる

これら、治療や生活環境の整備は、ご本人やご家族の精神的・身体的な負担を軽減することにつながり、適切なケアによって、認知症の急激な進行を防ぐことを期待して行っています。地域で「認知症だと思っけれど、病院に行くのを拒否している」など困りごとをお聞きしましたら、認知症初期集中支援チーム発動できる場合がありますので、まずは、地域包括支援センターにご相談ください。

認知症看護認定看護師 藤原 則子



..... 各分野認定看護師

クリティカルケア：村上／恒吉
慢性心不全看護：原谷
感染管理：篠原／濱崎
集中ケア：水本
皮膚・排泄ケア：大西／近藤

認知症看護：藤原(則)／佐藤
嚥下・摂食障害看護：日向
がん薬物療法看護：多賀
緩和ケア：藤原(大)



認定看護師の豆知識

「手軽でおいしいけれど、ちょっと気をつけたい食品とは？」

手軽で美味しい食品の中には、実は私たちの健康に少しずつ影響を与えているものがあります。すぐに体調を崩すわけではありませんが、毎日の積み重ねが将来の病気のリスクにつながることもあるのです。

(1) 加工肉のリスク

ハムやソーセージ、ベーコンなどの加工肉を日常的に食べることが、2型糖尿病や大腸がんのリスクを高めます。毎日わずかな量（60g未満）でも、2型糖尿病のリスクが平均で11%以上、大腸がんのリスクが平均で7%以上高まります。



(2) 砂糖入り飲料のリスク

炭酸飲料やスポーツドリンク、甘い缶コーヒーやジュースといった砂糖入り飲料も同様です。日常的に飲むことで、2型糖尿病や心臓の病気のリスクが高くなるという研究結果も出ています。



(3) トランス脂肪酸のリスク

マーガリンやショートニング、揚げ物、焼き菓子などに含まれることがある「トランス脂肪酸」も注意が必要です。“食べるプラスチック”とも呼ばれるこの成分は、心臓の病気のリスクを高めることがわかっています。



しかし、心配しすぎる必要はありません。大切なのは、少しずつ意識してみることです。たとえば、ジュースをお水やお茶にしてみたり、加工食品を少しだけ新鮮な食材に置き換えたり、無理のない範囲でできることから始めてみましょう。

クリティカルケア認定看護師 恒吉 亮徳

理念と基本方針

理念 医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。

編集後記

新緑の美しい季節となりました。この春、私達の職場にも新しい仲間が加わり、職場にも新しい活気が生まれています。私も、入退院支援室から地域連携室に加わせていただきました。まだまだ至らないこともあると思いますが、よろしくお願いいたします。今後は、新しい視点や力を大切にしながら、これからも地域の皆様方に寄り添った医療を提供していきたいと思っております。

地域医療連携室 北本 広美



交通のご案内

JRをご利用の場合

【電車】 JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】 長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】 JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】 藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】 京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】 枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



※病院ホームページ

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<https://hirakoh.kkr.or.jp/>